



小柵屋 営業部・開発部 次長 市場 敬之氏

小柵屋は、創業100年を超える老舗の再生利用事業者で、木質系廃棄物の有効利用を皮切りに、食品残さや汚泥といった有機性廃棄物の堆肥・肥料・燃料化事業等を発展させてきた。現在の主力は堆肥・肥料化で、保有する4施設の処理能力を合わせると1日当たり234・7立方メートル。昨年には一般廃棄物処分業の許可も新たに取得しており、さらなる事業拡大が期待される。現場の第一線に立つ営業部・開発部の市場敬之次長に話を聞いた。

プロジェクト

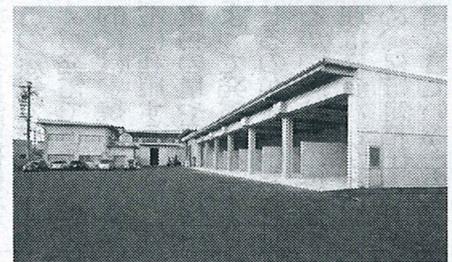
バイオマス B

第14回 毎月第1・3週掲載

小柵屋

御社事業の特徴を教えてください。

市場 自社で分析室を備え、堆肥・肥料の仕込みから完成に至るまでの経過をしっかりと記録



飛島営業所内にある肥料化施設

方を誤り、作物に悪影響を与えてしまいかねません。当社では、堆肥や土壌を分析にかけて数値化、それに基づいて施肥方法もご提案できます。そのため、農家さんもメーカーさんも安心して使

市場 堆肥化、肥料化、リサイクルが呼び掛けられるようになり、大勢の方が分別意識を持たれるようになってきている一方で、残念ながら現場では異物の混入も確認されています。私どもは廃棄物を「限りある大切な資源」として有効に利用したいと思っております。混ざってしまうと「ごみ」になるものも、分別していただくことによつて「資源」になります。一般廃棄物も含めて資源分別の推進を願っています。

数値管理で「安心」見える化

特徴ある商品開発目指す

管理している点でしようか。製造過程を数値化して全体的に管理することで、高品質な商品継続的に出すことができます。また当社には、ある程度まとまった量を扱っているのでも、安定的な供給を実現することも強みですね。さらに、「製造物を販売したら終わり」では説明しなければ、使い

や飼料化技術の開発など、特徴ある商品の開発に力を入れています。また、野菜の生産事業や各種廃棄物からの燃料化事業など、他業種に向けても事業の幅を広げていけたらと考えています。最後に、食品リサイクルの現場で、特に苦労されている点を教

会社概要

代表者	小島嘉豊代表取締役
設立	1975年
資本金	1000万円
所在地	名古屋市中区
事業内容	土壌改良材・有機肥料・木質燃料の製造販売、食品残さ処理、分析業務など